

## 特別展示「平和へのメッセージ ～情熱・元気・祈り～」 「絹谷幸二 天空美術館」にて開催

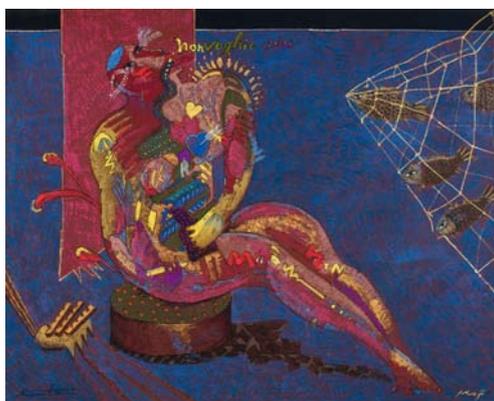
積水ハウス株式会社が設立・運営する「絹谷幸二 天空美術館」(梅田スカイビル タワーウエスト27階)では、特別展示「平和へのメッセージ ～情熱・元気・祈り～」を2018年3月28日(水)から6月25日(月)まで開催いたします。



『黄金旭日名古屋城』 今春新生する名古屋「御園座」の緞帳用に描かれた原画



『世界遺産 黄金朝陽爛漫不二』



『non voglio più 涙色の部屋Ⅱ』



『O氏へのレクイエム』

「美術はどんな武器よりも強い力を持つ！」

これは絹谷幸二氏が一貫して抱いてきた信念です。

美術によって、異なる言語や宗教、環境や歴史など、人間を隔てる全ての壁を包み込み、争いを越えて人々の信頼と輝かしい未来を高らかに歌いあげるために、ここには平和への祈りが込められています。

今、世界中で最も必要とされるのがこの美術・藝術の力ではないでしょうか。

本展では、現代社会の諸相から神話まで、絹谷幸二氏の様々なイメージ世界をご堪能いただき、怒りや悲しみを越えたところにある、生きることへの夢と希望、そして愛することの喜びに触れていただきたいと願っています。

## 出品作品

『黄金旭日名古屋城』（240mm×665mm 2016年）

今春新生する名古屋「御園座」の緞帳用に描かれた原画。黄金の日輪を背景に金のシャチホコを左右に配し荘厳な名古屋城が描かれ、天空に広がる虹には十二支が並ぶ。縁起物としての十二支は愛らしく親しみやすい姿で描かれ、「御園座」が守り続けてきた「時間」と「美」を象徴している。

『世界遺産 黄金朝陽爛漫不二』（150号 2016年）

金色に輝く空に堂々とそそり立つ富士に、荘厳な空気と風が色彩によって運ばれる。その神々しい姿に絹谷は常に魅了され自然への感謝、生命の奇跡を感じながら多くの富士をキャンバスに描き続けている。

『non voglio più 涙色の部屋Ⅱ』（100号 1990年）

涙を浮かべながら「non voglio più (私はもう望まない)」と叫ぶ女性。社会、平和、環境など相反する諸問題に板挟みとなった人間の苦悩を描き出し、大きな反響を巻き起こした1990年代初期の代表作。

『O氏へのレクイエム』（立体作品 1987年）

ケースの中で泣き叫ぶタキシード姿の男性。O氏とは絹谷と大変親しかった医師で人を助ける医師が、人を助けるために自分の命を落とした。その深い悲しみを表現した、魂の安息を願うレクイエムである。

### ◆ 絹谷 幸二（きぬたに こうじ）氏

1943年 奈良県出身。東京藝術大学大学院壁画科修了後、ヴェネツィア・アカデミアに留学。アフレスコ（壁画の古典技法）を修得し独創的なスタイルを確立する。1997年『銀嶺の女神』長野冬季五輪公式ポスター原画を制作するなど、半世紀に亘って日本の現代画壇をリードし後進の育成にも尽力。現在、東京藝術大学名誉教授、日本藝術院会員。2014年文化功労者として顕彰。アフレスコの国内第一人者。



©海田悠

### ◆ 「絹谷幸二 天空美術館」 <http://www.kinutani-tenku.jp>

2016年12月、世界的に話題の「梅田スカイビル」内にオープンした最新型ミュージアム。世界初となる絵の中に飛び込む大迫力の3D映像体験や、アフレスコをはじめ絵画や彫刻の数々を展示し、絹谷ワールドを存分に楽しめる絹谷幸二氏初の単独美術館。52作品を公開中（2017年12月21日現在）。

遊び心満載のワークショップやアトリエスペース、快適空間のカフェなどを併設し、眺望も抜群な美術館。

【開館時間】 10:00-18:00、金曜日・土曜日・祝前日は10:00-20:00

（入館は閉館の30分前まで）

【休館日】 火曜日（ただし祝日の場合は開館し翌平日が休館）、

年末年始（2017年12月30日－2018年1月3日）、展示替え期間

【入館料】 一般1000円、大学・高校・中学生600円、小学生以下無料、団体・障がい者割引あり

【所在地】 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビル タワーウエスト27階

【お問い合わせ】 06-6440-3760（開館時間内）